

3年

1学期「ヌチヌグスージ 命の祭り」

沖縄のお墓参りを通して、命の大切さや、連続性について考えました。

「命の大切さがわかった」「他の人や生き物の命も大切にしようと思う」などの記述から、命の大切さについて再確認できたことが分かりました。

また、「自分たちの子どもから見ると、自分もご先祖様だから、自分の体を大切にしなければならないと思う」という、未来からの視点で考える児童もいたことに驚きました。

中学年分科会

4年

6月26日(水)「泣いた赤おに」で、校内研究授業を行いました。

「泣いた赤おに」は、赤おにと青おにの友情をテーマにした有名な絵本です。子供たちは、役割演技や話し合いを通して、赤おにの気持ちを考えました。今回は、赤おににスポットを当て、授業を進めました。

「一番の友達である青おにくんと友情に気付かなかったことが悲しい。」「青おにくんの行動に感謝している。」など、赤おにの感謝・後悔・友情への気付きなど、様々な気持ちを考えることができました。また、授業の振り返りでは、

「青おにくんのように、やさしくて思いやりのある人になりたい。」「相手の立場、気持ちになって、話してみるようにしたい。」「友達と一緒によく考えて、一緒に過ごすことで、その子のことが大切だとわかる。」など、自分が友達を大切にしていくために、これからどうしていきたいか、をそれぞれ考えることができました。